

【デーリー東北新聞に三沢発電所に関する記事が掲載されました】

2月10日付掲載のデーリー東北新聞において、当社グループで計画中の青森県三沢発電所に関する記事が掲載されておりますので、ご紹介いたします。

(平成28年2月10日 掲載)

<p>再生可能エネルギー事業などを手掛ける多摩川ホールディングス(東京・梶沢徹社長)が、三沢市六川目地区に約1万誌の大規模太陽光発電施設(メガソーラー)の建設を計画していることが9日までに、同社へ</p>	<h1>三沢にメガソーラー</h1>
	<p>多摩川ホールディングス(東京)計画 1万^{キロワット}規模、4月着工</p>
<p>の取材で分かった。4月に着工し、10月に約5千誌の売電をスタート、来年5月に全面稼働する。</p> <p>同社の東北地方への進出は初。発電事業で実績のあるエトリオン・ジャパン社(東京)と共同で進める。</p> <p>六川目地区の養鶏場跡地など4カ所の計15万3千平方メートルを購入し、太陽光パネル約3万6千枚を敷設する。</p> <p>太平洋側の積雪が少ない平坦地で、年間を通じて発電に必要な日照量を確保できると判断。養鶏場跡地の所有者とのつながりも生かした。</p>	<p>再生可能エネルギー固定価格買い取り制度に基づき、全量を20年間、東北電力に販売する。年間の発電量は1085万2814キロワット時、売電収入は約3億9千万円を見込む。</p>

(工藤文一)

※この記事は発行元に掲載の許可を承諾頂いた上で掲載いたしております。